



平岡篤一
『漫画』
林康史
（監修）
（立正大学経済学部教授）

はじめに



ジム・ロジャーズを知つて30年近くになる。当時、私は保険会社で為替ディーラーをしていたが、たまたまジムの最初の単行本の翻訳を手伝うことになり、その後、紀行、投資等々のジムの本を訳すことになった。

私は金融三業態を経て大学の教員になつたが、その間、投資を学ぶとは何なのかということを常に考えてきた。金融機関では、仕事柄、社内ばかりでなく社外の一般社会人に金融・投資を教える機会も多かつたが、教育効果という手応えはほとんど感じられなかつた。私の話を聞いた人が私の考え方を理解し自力でそれなりの投資ができるようになつて巣立つていくということではなかつたのだ。多くはせつからく勉強しても実践できないままで、ぐるぐると同じ場所を回つてゐるだけで、勉強したことを活かせないでいる。大学教員になつて、その原因に思い至つた。投資に関しては、多くの人が社会人になつた後も、学校のときと同じ姿勢で接し、勉強しているつもりになつてゐるのだった。

投資の本を読んで「ああ、いい勉強になつたなあ」と本を閉じてオシマイにしている人が多いのではないか。そして「さ、次の勉強だ」とばかり、別の投資本を手に取つてゐるのではないか——投資の本を“教養”的に読むのは妙だ。



投資の本を何冊読もうとも、投資というものを勉強するために読み、実践しないなら、時間と労力の無駄だ。金融や投資は、実学の最たるもののはずである。

私が本書の解説・監修を受けたのは、そうした思いがあつて、自分の得た投資の知識をまとめて世に還元したかったからだ。私の投資の考え方のうち、ジムについての部分を総括しようと考えたのである。

マンガ本で投資はできないということなけれ。まずは、シミュレーションからでよいから、投資を始めよう。実践しながら学べばよい。「投資本を捨てよ、投資の世界へ出よう」。投資は、実践してナンボなのだ。

今回も多くの方にご協力いただいた。ジムの愛弟子の林則行氏、投資アプリの紹介を快諾いただいた陸川富盛氏、また、畠山久志氏、田倉達彦氏、松野利彦氏、山岡博士氏、田村正之氏、大槻奈那氏、林悟史氏といった金融市场や財務のプロ、また、歌代哲也氏、阿部真美子氏、篠本沙希氏、関根健一氏、渡邊紋子氏、谷本千曉氏、江原慧氏ら（金融市场や財務のプロでもあります）大学院やゼミのOBOG、また、飯塚美友さん、伊東悠大さん、吉元秀磨さん、山口百花さん、沖本大和さんら現役のゼミ生にも貴重なコメントをいただいた。記して感謝したい。

はじめに

PART 1

幼少・青年期

5歳でビジネスを、 大学在学中に株式投資を経験

ロジャーズの
言葉

「できるだけ多くのことをやってみて
自分が最も好きなことをひとつ続ける」

マンガ
幼少・青年期

はじめてビジネスを体験する

重要シーン①

幼少期に身につけた真摯に取り組む姿勢

投資術①

世界を自分の目で見て自分で調べる

重要シーン②

社会と市場のしくみを学んだ大学時代

投資術②

ロジャーズの投資スタイル、運用の鉄則

PART 2

壮年期

投資銀行入社と クオントム・ファンド設立

ロジャーズの
言葉

「そのとき、世界がどのように機能したかを知つてみると、
どのように行動すればいいのかのヒントになる」

PART 3 最盛期

ファンドで驚異の パフォーマンスを上げる

ロジャーズの
言葉

「周囲の人々が君の行動を制止したり馬鹿にし始めたらそれはすばらしい成功へのサインだ」

マンガ
壮年期

アナリストとして世界を飛び回る

重要シーン①

失敗から学べば成功する

投資術①

公表している情報から経営の状況を知る

重要シーン②

とことん調査し行く末を確信

投資術②

流されるのではなく、流れに乗る

重要シーン③

批難されることは喜ばしい

投資術③

同業他社、関連企業にも注目する

Column 1

ジム・ロジャーズという人間

マンガ

最盛期

クオンタム・ファンドで活躍後、大学教授に就任する

重要シーン①

クオンタム・ファンドの成功

投資術①

リスクを把握しつつレバレッジを用いる

重要シーン②

企業を知ることの大切さ

投資術②

状況と変動理由を正確に理解する

重要シーン③

PERでは見えない株価上昇の可能性

投資術③

過去の例を探って次の動きを予測する

Column 2

ソロスとの決別——その理由

PART

4

中年期

バイクと車で世界中を回り 個人投資家として活動

ロジャーズの言葉

「いずれの分野を目指しているにせよ、自分のことがわかるにつれ、成功は確かなものとなっていく」

マンガ

中年期

自ら商品指數を立ち上げる

重要シーン①

ロジャーズの世界旅行

投資術①

耳寄り情報に頼らず人と違うものを買う

重要シーン②

ロジャーズ、国際商品指数をつくる

投資術②

ロジャーズが商品を推す理由

Column 3

ソロスの相場哲学

**PART
5****熟年期**

世界経済の行方、アフター「コロナ」の市場動向

ロジャーズの言葉

「その場に立たなければわからない世界を見た
かったのだ。これこそ本当の世界だと思えるものを」

**マンガ
熟年期**

アジアに移住する

重要シーン①

現地で確信した中国経済の将来性

投資術①

天底の見分け方

重要シーン②

コロナ禍でアジアの株を買い増す

投資術②

大きな変化から投資する国を決める

APPENDIX

ロジャーズの投資手法を一々で実践する

ロジャーズの年譜

172

／ おわりに

174

／ 主要参考文献

175